



令和6年12月4日
九州地方整備局建政部

令和6年度「地域づくり表彰」の表彰状伝達式を開催します！ ～東シナ海の小さな島ブランド株式会社(鹿児島県薩摩川内市)が 「国土交通大臣賞」を受賞～

地域間の連携と交流による地域づくり活動を奨励するため、地域づくりに顕著な功績のあった優良事例を表彰する「地域づくり表彰」として、全国で9団体の優れた取り組みが表彰されることになり、九州地方整備局管内からは2団体が選定されました。

表彰名	受賞団体名または活動名(所在地)
国土交通大臣賞	東シナ海の小さな島ブランド株式会社 (鹿児島県薩摩川内市)
国土計画協会会長賞	「島の人をつなぐ」=奈留まち協もやい場 (長崎県五島市) ※11/23:国土計画協会より伝達済

つきましては、国土交通大臣賞の表彰状伝達式を行います。

日時: 令和6年12月11日(水) 13:30～14:00

場所: 鹿児島県庁18階 かごゆいテラス 桜島側スペース

伝達者: 九州地方整備局 建政部長

出席予定者: 東シナ海の小さな島ブランド株式会社 代表取締役 山下 賢太 氏

表彰の概要については【別添1】をご参照ください。

※「地域づくり表彰」

地域づくり表彰制度は、創意と工夫を活かした広域的な地域づくりを通して、個性ある地域の整備・育成に顕著な功績があった優良事例を表彰することによって、地域づくり活動の奨励を図ることを目的に、昭和59年度より実施、令和6年度で41回目を迎えます。

地域づくり表彰の詳細については、下記URLをご参照ください。

【国土交通本省 HP】 https://www.mlit.go.jp/report/press/kokudoseisaku09_hh_000155.html

問い合わせ先: 国土交通省九州地方整備局

TEL: 092-471-6331(代表)・FAX: 092-476-3511(直通)

建政部 計画管理課 課長

井上(内線 6121)

建政部 計画管理課 課長補佐

大迫(内線 6122)

○受賞団体について

【国土交通大臣賞】

東シナ海の小さな島ブランド株式会社(鹿児島県 薩摩川内市)

●活動概要●

「多角的な事業展開で“懐かしい未来の風景”をデザインする」:若年移住者の雇用を創出しつつ、島同士の連携により課題解決に向けた取組を推進

島の原風景を取り戻そうと、耕作放棄地の再生から米作り等の農業に、その無人販売から、島に訪れる人の目的になるべく商店を開き、さらに通販や宿泊施設などを展開。取組が取組を呼び、17もの多様な事業を展開。そのなかには、地元の高齢者がその来訪を待ち望む、豆腐の昔ながらの移動販売も含み、好評を得ている。古民家を改造したベーカリーでは、高齢者会のサロン等、島民の憩いの場にもなっていて、近年は、空き家等の管理を行う会社も創業し、島外の移住者の相談も受けている。



築150年超の古民家をパン屋に

島の課題を、成長のエンジンに転換する事業づくりと、さらには近隣の離島と連携して課題解決を目指す「鹿児島離島文化経済圏」の立ち上げなど、次世代へつなぐ島の経営に取り組んでいる。



「鹿児島離島文化圏」各離島と課題解決のネットワーク形成

●選定理由●

島の風景を守るため、経済の島内循環を生む多業種を展開、若者の雇用を創出した

我が国の各地で「産業がない」「不便」などネガティブな要素から、人口流出が大きな課題となっているが、島ならではの価値にしっかりと光を当てることで、新たな業態に広がっており、今の感性が加わったデザインも重視した取組は、新たな魅力も生み出している。雇用を重視し、雇用協議会を発足させ、島に若者を中心とした18名という雇用を生んだこと、3ヶ月のお試し滞在の機会を創出したことも高く評価できる。人口3600人高齢化率5割の離島での多彩な取組は、離島だけでなく他の条件不利地域の地域づくりにも大いにお手本となる取組といえる。また、県内外の離島同士の地域の課題解決のための広域的なネットワークづくりの取組も素晴らしく、今後、より広い展開が期待される。

■問合せ先■

薩摩川内市 未来政策部 企画政策課

TEL:0996-23-5111(内線 4842)

【国土計画協会会長賞】

「島の人をつなぐ」= 奈留まち協もやい場(長崎県 五島市)

●活動概要●

積み重ねた話し合いにより実現！島の魅力のサカナと交流の拠点としての「もやい場」づくり

毎月開催されるまちづくり協議会の定例会の中で、「漁業の島なのに地魚を楽しめる店がない」という課題が浮上。そこから、課題解決に向け、さらに話し合いを重ねながら、クラウドファンディング等で資金を集め、空き店舗を活用した食堂「もやい場」を開業。それまで江上集落(世界遺産)に立ち寄りだけだった



島内外のこどもたちが、接客や食事の提供などを体験できる「どがねキッズ」を開催

た島の観光コースに「もやい場での食事」が追加されたり、「もやい場」に来ることが来島の目的となるなど、島の新たな立ち寄り先を創出できた。また、「もやい場」は島の人々が集う場としても機能しており、商品販売やワークショップの場としても活用。島内外の子供達が接客を体験するイベントも開催。



「もやい場」で地魚を調理するのは地元住民の調理の腕自慢の方々

●選定理由●

島民の意思を一つに「新たな拠点」づくりで島内外の人達との交流機会を創出.島の認知度を向上

まちづくり協議会のLINEには、奈留島の人口の半数以上の方が登録し、対面での定例会にも多くの方が参加。地域の弱点を話しあい地元の人にとっては普段食べているものを魅力あるものとしてキチンと認知。50回もの協議の結果として、住民総掛かりで島の魅力を伝える象徴的な場が出来上がったことは素晴らしい。

また、外から来た方との交流を通じて、島の魅力を再発見して島を好きになり、お土産づくりにつながったり、地域住民同士の交流、絆づくりにもつながっている。

こどもたちの接客体験事業など、住民が明るく、仲良く幸せに暮らし温かく迎えてくれていることが、外から来る人にとっては一番の魅力でありピーターにもなりえる。

「島に来てくれて嬉しい」「奈留のいいところを伝えたい」という気持ちの地元の方が、「もやい場」に集まってくることで、食事に来たお客様との会話から地域の課題解決のヒントを得た事例や、来客を機に地域全体の住民側の接客意識が高まってきている等の好循環が生まれている。

単に食材だけでなく、地元の方の「奈留が大好き」を伝搬する場として今後の展開も期待できる。

■問合せ先■

五島市 地域振興部 地域協働課
TEL:0959-76-3070(課直通)